

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	普及広報事業			事業番号	008-061
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用部 博物館	部	学芸 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3)類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進		
			有	取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	大仙公園エリアへの来訪者数				
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9		
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—			

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 55 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠	博物館法・文化財保護法			

事業の概要

5	事業の実施主体	堺市博物館			
6	事業の対象	市民及び本市への来訪者	対象数	単位	
			—	—	
7	事業の目的	堺の歴史・文化の発信拠点として堺市博物館の魅力を広報して来館を促し、堺の歴史・文化・伝統を知ってもらうことで、市民の郷土愛の醸成を図ることを目的とする。			
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○普及事業 ・歴史史料に興味を持つ方に対し、古文書講習会を実施 ・小・中学生向けの体験学習会を開催 ・夏休み期間中に未就学児と小・中学生及び保護者等を対象としたミュージアム・パス&スタンプラリーを実施 ・博物館ボランティア制度の運営 ・ミュージアムグッズを作成 ○広報事業 ・SNSを用いたPR活動 ・企画展ごとに広報関係資料を作成 ・『堺市博物館研究報告』を作成 			
	※国・府の基準より上回って実施した内容				
9	主な支出先	委託業務の受注者			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
11 入館者数	人	目標値	—	140,000	155,000	155,000
		実績値	—	130,743		
		達成率	—	93%		
当該指標を選定した理由		広報活動を行い観覧者数が増加することで、大仙公園への来訪者数の増加に貢献できるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		令和元年の入館者総数（266,000人）／12か月×7か月				
活動指標	単位		実績		目標	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	
12 体験学習会・古文書講習会の開催回数	回	目標値	18	18	18	
		実績値	20	21		
		達成率	111%	117%		
当該指標を選定した理由		堺の歴史・文化に触れていただくため、また、観覧者数の増加に繋がることから、休日・祝日等を中心に体験学習会や古文書講習会を開催している。				
目標値の設定根拠・算出方法		休日・祝日等を中心とした日程で、現状の職員数で実施可能な回数を設定。				

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	普及広報事業	事業番号	008-061
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	3,248	3,824	7,656	4,485	8,998	
13 財源内訳	国支出金		2,634			
	府支出金					
	市債					
	その他 (寄附金等)	1,690	1,025	1,800	1,000	4,080
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	1,558	2,799	3,222	3,485	4,918	
14 人件費 (b)	19,140	18,990	18,990	18,990	19,440	
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	22,388	22,814	26,646	23,475	28,438	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R6 決算
16 事業費内訳	報償費	R6 決算	48	48	パンフレット等作製・配布業務	R6 決算	379	379
		R7 予算	136	136		R7 予算	1,000	1,000
	旅費	R6 決算	8	8	冊子等作製業務	R6 決算	1,137	137
		R7 予算	116	116		R7 予算	480	0
	需用費	R6 決算	437	437	ミュージアムグッズ作製業務	R6 決算	997	997
		R7 予算	660	660		R7 予算	2,000	0
	広告料	R6 決算	802	802	各業務委託料	R6 決算	618	618
		R7 予算	1,500	1,500		R7 予算	2,500	900
	その他役務費	R6 決算	59	59	使用料及び賃借料	R6 決算	0	0
		R7 予算	166	166		R7 予算	440	440

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
		113,270	123,054
① 年間の観覧者数 (博物館 + 利品の杜)	人		
② 上記①にかかる年間経費	千円	22,814	23,475
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	201	191
算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	年間経費については、新規となる小・中学生向けの古墳解説書を作成したことから微増となった。一方で、令和5年度に比べ、観覧者数が約9,800人（博物館：約6,300人、利品の杜：約3,500人）増加したことで単位当たり経費は削減できており、費用対効果は改善している。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>令和5年度に比べ、デジタルサイネージやSNS等の新たな媒体を使った広報活動をこまめに行うことで、市内外からの入館者増に繋がった。観覧者数は約9,800人増加している。</p> <p>普及事業では、市内外の幼児から小中学生を対象とした体験会や出張によるワークショップ等を21回開催した。内容については楽しく学べるよう、常に工夫・改善を凝らして実施することで、堺の歴史文化に興味、関心を持ってもらうことができ、体験会等を通して家庭内への広がりにより、普段博物館に訪れることのない層へのアプローチにもつながった。</p> <p>また、広報事業においては、市内小中学校へチラシ等印刷物の配布、SNS等での発信、校外学習等で来館した小中学生の団体への直接の案内等、他館で行われる普及事業にもブースを出展し堺市博物館のPRを行うなど広報活動を実施することで多くの方に来館いただけた。</p> <p>今後も、長期的視野のもとに魅力あるコンテンツを活用した体験会等を実施するほか、積極的なプロモーションを行うことで入館者の増加および大仙公園エリアへの来訪者数の増加をめざす。</p>
----	--